

# 現代の中学生像についての一考察 —アンケート調査を踏まえて—

玉井 香代子\* 大石 英史

A Consideration for the Contemporary Image of Junior High School Student

TAMAI Kayoko and OHISHI Eiji

(Received June 18, 2003)

キーワード：中学生像、対人関係の希薄化、青年期平穩説

## <問題提起>

昨今、子どもが見えない、理解できないという話題が巷にあふれ返っている。マスコミ然り、有識者然りである。確かに、“いじめ”、“学級崩壊”、“キレル子ども達”、“少年犯罪”など、子ども達による問題が社会で大きく取りあげられるようになって久しい。しかし、本当に子ども達は以前に比べて、理解不可能になってきたのであろうか。もしかすると、上述のような突出した現象に注目しすぎるあまり、それが現代の子どもの特徴であるかのように誤解されているに過ぎないのではないだろうか。そして、そのことが更に子ども達を見えなくしている要因となっているのではないだろうか。

しかし、そういったごく限られた現象を抜きにしてみても、今の子ども達が何を考えているのか分からない、という意見をもつ大人は多い。かつて柳田国男氏は「チグリス・ユーフラテス河畔の古代遺跡から発掘された数千年前の石碑にも『今どきの若いものは仕方がない困ったものだ』という意味の言葉が記されている」と述べている。人類は四千年にもわたって、自分よりも下の世代に対して文句を投げかけ続けてきたのである。もしもこれが真実であり、若者が年々だめになっていっているのならば、人類はとうに滅びているはずである。つまり、我々大人の世代が若い世代を理解できないのではなく、理解しようとしていない、見ようとしていないのである。

従って、子ども達を理解するためには「なぜ子どもが見えないのか」という視点ではなく、「どうすれば見えてくるだろうか」という視点が必要となってくる。

よって本稿では、一般的に理解困難であると言われている思春期、つまり中学生に焦点を当て、その現代像を明らかにすると共に、その背景要因を考察することを目的とする。

## <方 法>

1. 被調査者：A 県公立中学校 B 中学 634名。同県公立中学校 C 中学 130名。同県公立中学校 D 中学 307名。同県公立中学校 E 中学 248名。合計 1319名。

※ 山口大学大学院教育学研究科学校臨床心理学専修

2. 調査方法：以下の質問項目について、無記名・自由記述形式で実施し、回収した。
3. 期間：2000年9月17日～2000年10月31日

### <質問項目>

- ① あなたのいいところ（長所）は？
- ② あなたの悪いところ（短所）は？
- ③ 今、一番欲しいものは？
- ④ 今、一番心配なことは？
- ⑤ 最高にハッピーな自分を100点としたら、今の自分は何点？
- ⑥ 何があったら、100点に近づけそう？
- ⑦ もし火事になったら、何を持って逃げる？
- ⑧ 日頃ストレスがたまったとき、どうしてる？
- ⑨ 無人島に一人だけ連れて行くとしたら、誰と行く？
- ⑩ 一番幸せだなと思うのは、どんなとき？
- ⑪ 将来なりたいものは？
- ⑫ 学校って、もう少しどんな風が変わったらいい？
- ⑬ 1つだけ神様があなたの願いを叶えてくれるといたら？
- ⑭ 宝くじで100万円当たったら？
- ⑮ あと1年しか生きられないとしたら、何をする？

### <結果>

アンケートの集計結果を資料として巻末に示す。

なお、複数回答を含めたり無効回答を削除したため、項目ごとの合計人数は異なっている。

### <考察>

#### (1) 各項目から示唆されること

項目①：「明るい、おもしろい、よく笑う」が最も多くなっており、特に女子にその傾向が強い。一方で、「わからない、ない、思いつかない、無回答」が非常に多い。これは自分をよく言うことを避けているのか、それとも自分に対して良い評価が出来ないのかは現時点では言及できないが、現代の子どもを理解する上で非常に意味深い結果であるといえよう。

項目②：「切れやすい、短気、怒りっぽい」が男女とも最も多くなっている。不満や怒りを表出しやすくなっていること、そしてそれが悪いことだという認識が子供たちにとって一般的となっているということがわかる。

項目③：「お金」という回答が最も多く、次いで具体的な物の名称が挙げられている。

項目④：学習・進路について、次いで対人関係についての心配が多くなっている。そして「ない、無回答」が同等に多い。これはつまり、心配なことがある群とない群が2極化しているという事実を示すものである。

項目⑤：「79～60点」というのが最も多かった。自分に対して過大評価もせず、過小評

価値もせず、ほどほどに良いと評価している子どもが多いということがいえる。更に、現代の子どもは自己肯定感が低いといわれて久しいが、自分を50点よりも高い点数で評価している人数が非常に多いことは興味深いことである。

項目⑥：これは自己調整力を問う質問だが、他力本願的な回答も多く、加えて「無回答、わからない」という回答も突出して多い。これは自己調整力が育っていないということを示唆しているのであろう。また、「友達関係、好きな人がいれば」という回答が多かったが、それ以外は適度にばらけているといえる。なにを持ってすればよりよい自分に近づくことができるのか、といったことは、やはりそれぞれの価値観によって決まってくる、という結果が導き出せよう。

項目⑦：最も多いのは「お金、通帳、貯金箱、印鑑」であった。これについては項目③とも合わせて後に論じることとする。

項目⑧：「物や人や動物にあたる」が最も多く、次いで「ゲームをする、テレビを見る、音楽を聞く」、「寝る」が続く。項目②の結果と合わせて考えると、非常に興味深い。ストレス対処のために物や人にあたり、それを自分の悪いところだと認識している。そのことで更にストレスがたまる、などということは考えられないだろうか。それとも悪いところがあっても良く、改めるといふ意識が低い子どもの存在を示唆しているのだろうか。

項目⑨：「友達、気の合う人」が突出して多く、子どもにとって友人が非常に重要視されているということが分かる。

項目⑩：「ゆっくりできるとき、寝るとき」がもっとも多く、これは項目⑧の結果と合わせて後で論じることとする。次いで、「好きなことをしているとき」、「友達と一緒にいるとき」が多い。

項目⑪：男女差が大きく出ている回答が3つあった。「保母、先生」、「福祉関係」という回答は女子が多く、「スポーツ選手」という回答は男子が多かった。また、「決めていない、分からない、無回答」が非常に多いという結果は、将来への展望を持ち得ない子どもが多いということを示すものであり、不況で先の見えない今の中を反映した結果であるといえよう。

項目⑫：「設備を改善」が最も多く、次いで「みんな仲良く、リラックスできるように、いじめのない」、「校則」が多い結果となっている。沢山の要望が書かれている中、「特にない、今のままで良い」という回答があることに注目したい。これは子ども達が、学校に満足しているとも、学校に対して何も期待をしていないとも受け取れる。が、子ども達の多くが学校に対して要望を出しているのだから、全く何も無いと言うことはないだろう。従って、少数ながら“学校に何も期待していない”子どもが存在しているということがいえる。

項目⑬：最も多かったのは「願いの数を増やす、ドラえもんが欲しい、神様になりたい」という回答だったが、ここで注目したいのは「お金持ちになる」という回答である。項目③、⑦とも通じるが、子ども達の拝金主義は非常に顕著な現象として存在していると言って良いだろう。

項目⑭：「好きなものを買う」、次いで「貯金をする」が多かった。これは子ども達が非常に現実的に物事を捉えているということの表れであろう。

項目⑮：「やりたいことをする、好きなことをする」、「遊ぶ」が多く、加えて「犯罪行為をする」という回答が存在することに注目すると、全体としては公・社会への観点がない

く（人類、地球の未来を考えた回答がない）、自分主義であるといえる。これはつまり、子ども達は自分の存在を残したいと思っており、一人一人が大事にされたいという終わりのない欲求が存在しているのである。そういう意味で、犯罪行為をするということは捨て身のアピールであり、実際に犯罪行為をするかどうかは別にして、そういった欲求を持っている子ども達が存在していることは確かなのである。

## (2) “拝金主義”について

「今一番欲しいものは?」、「火事になったら何を持って逃げる?」という質問に対して「お金」という回答が多く、「願いが1つかなうなら?」という質問に対して「お金持ちになる」という回答が多かった。NHKが行ったアンケートでも「お金と人生の幸せの関係はどうかと思いますか?」という質問に対して「全てではないがお金が重要だ」と答えたのは68%にもものぼる。が、「宝くじがあたったら何に使う?」という質問に対する回答から分かるように、いざお金が手に入ったとしてもそのお金は「貯金する」のである。

こういった、“お金があれば何でも手に入る、何でもできる”という価値観が現代の子どもに蔓延しているのは、我々大人の価値観をそのまま映し出しているに過ぎないのではないだろうか。というのも、大人を見て学習していくことは子どもの特徴でもあり、子ども社会は大人社会の縮図といえるからだ。従って、今の子ども達は何のためにお金が必要なのかを考える余地なく、お金が大切であるということを大人によって刷り込まれる。だからその使い道に関して、どうすればよいのかといったところまで考えが及ばないのである。そこには目的意識の低い、そして空虚な子どもの姿が映し出されているといえるだろう。

## (3) 対人関係の希薄化について

「無人島に連れて行くなら誰?」という質問に対して殆どの子どもが「友達、気の合う人」と答えており、「一番幸せと思うのはどんな時?」という質問に対して「友達を一緒にいるとき」と答えた子どもも非常に多かった。また、NHKが14歳の子どもを対象に行ったアンケート結果にも「親友と呼べる友達はいますか?」という質問に対して82%の子どもが「はい」と答えている。この結果は、思春期は親からの心理的別離が起こる時期であり、同時に依存対象が親から友人へ変化していくという観点からも納得のいくものといえるだろうし、現代の子ども達の求める対人関係が“濃く”なってきたともいえるだろう。

一方で、ストレスが溜まったときに「ゲームをする、テレビを見る、音楽を聴く」、「一人になる、ボーっとする、我慢する、何もしない」という回答や、一番幸せなときが「ゆっくりできるとき、寝るとき、休みの日の前」という回答が多かった。そして文部科学省白書(2001)では子ども達の“対人関係の希薄化”が論じられており、加えて大石(1998)は「今の子どもたちは、お互いに迷惑をかけない「気楽な関係」を取り結ぶ技術には長けていても、真面目な話、深刻な話のできる関係を取り結んでいく技術を持ち合わせていないように思われる」と述べている。しかも、核家族化が進んだ今、子どもが個室を持つことはもはや常識になってきている(NHKのアンケート結果によると個室を持っている子どもは54.7%である)。また、「自分の悪いところは?」という質問に対して「切れやすい、短気、怒りっぽい」という回答が多く、「日頃ストレスがたまったときどうする?」とい

う質問では「人・物・動物にあたる」という回答が多かったという結果から、今の子ども達は、適切なストレス解消能力が低い上、ストレス処理の仕方が外へ向かいやすい、つまり他罰的になってきているということが示唆される。

これらを考慮すると、子ども達にとっての“親友”、“友人”という概念が変わってきているということは考えられないだろうか。国語辞典によると、“親友”の定義は「小さいときは常に行動を共にし、長じては何事も打ち明けることのできる友人」とある。果たして今の子ども達が、この定義を基に「親友がいる」、「友達が大事」と言っているのかどうか、疑わしいものである。つまり、現代の子ども達の対人関係は総じて希薄化が進んでいるのだが、部分的に濃いともいえる上、ストレス対処法は他罰的であるということがいえるのではないだろうか。そして、そのような対人関係を形成した場合、子ども同士の“配慮のない”“剥き出しのエゴ”のぶつかり合いが起こってしまうことは必然であろう。

しかし、今回のアンケートの結果全体で「どうすれば良いと思うか？」や「どうしたいか？」という意図の質問に対して「分からない、ない、無回答」が非常に多かったこと、「心配なことがない」という回答が「ある」という回答と同等に多かったこと、そしてストレスが溜まったときや、幸せだと思うときは「寝る、ゆっくりする」という回答が多かったことから、そのようなぶつかり合いは顕在しておらず、Douvan&Adlsen、Offerらのいう「青年期平穏説」が当てはまるように思われる。しかも、杉原(2002)によると「少なくとも一見したところ『平穏な』青年期を過ごす一群の青年が存在していることは否定しようのない事実」なのである。が、そういった一群を抜きにしても、「面倒な対立は避け、問題を全て素通りさせて流してしまおう」という“見せ掛けの平穏”を装う風潮が、子ども達に蔓延してきているといえるだろう。

#### (4) 今の子ども達の「育ち」の現状

わが国は現在、戦後の復興を遂げ、高度経済成長期を経て、今までにないほど豊かな時代を迎えている。豊か、とはいっても、精神的な豊かさは取り残され、物質的な豊かさだけに焦点が当てられていることは非常に嘆かわしいことである。このような時代では、人間の心はより快な方向へ、より便利な方向へと流されやすく、その流れに立ち向かうには相当な意思と努力が必要となってくる。そうなると、大多数の人々は好むと好まざるとに関わらず、ただひたすら自らの欲望を満たすためにエネルギーを浪費せざるを得ない。これは人間の心が自己中心的になってしまった要因といってよいだろう。従って、現代の子ども達の心の育ちは非常に自己中心的、つまりエス的にならざるを得ず、そのような環境においては超自我、つまり規範意識が育ちにくくなる。

冒頭でも述べたように、今学校現場では、「学級崩壊」に代表されるように、子どもを教育することの難しさが問題となっている。こういった問題に対しては、教師の指導力不足、家庭環境など、様々な要因が挙げられるだろうが、それだけでは説明の出来ない部分も確かに存在する。そういった部分に、先ほど述べた現代の時代背景が深く関わっているのではないだろうか。

資料：アンケート結果

	B中学校			C中学校			D中学校			E中学校			合計		
	女	男	計	女	男	計	女	男	計	女	男	計	女	男	計
<b>1. あなたのいいところ (長所) は?</b>															
①明るい、おもしろい、よく笑う	107	39	146	21	11	32	70	41	111	41	15	56	239	106	345
②優しい、思いやりがある、気持ちが分かる	41	40	81	9	10	19	40	56	96	12	16	28	102	122	224
③マイペース、最後までやり通す、人に流されない、根気	26	11	37	4	5	9	0	0	0	9	4	13	39	20	59
④誰とでも仲良くできる	18	10	28	4	0	4	0	0	0	0	0	0	22	10	32
⑤嫌なことは忘れる、気持ちの切り替えができる	6	3	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	3	9
⑥元気、活発、健康	10	4	14	10	15	25	0	0	0	6	6	12	26	25	51
⑦プラス思考、前向き	2	1	3	2	0	2	0	0	0	0	0	0	4	1	5
⑧スポーツが得意、運動神経、足が早い	0	9	9	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	11	11
⑨温厚、あまり怒らない、切れにくい、感情的にならない	7	20	27	4	3	7	0	0	0	3	8	11	14	31	45
⑩真面目にやる	4	7	11	1	9	10	0	0	0	0	0	0	5	16	21
⑪短所が無いところ	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	3	3
⑫分からない、ない、思いつかない、無回答	55	121	176	7	20	27	26	32	58	39	59	98	127	232	359
<b>2. あなたの悪いところ (短所) は?</b>															
①切れやすい、短気、怒りっぽい	112	92	204	14	30	44	69	62	131	40	35	75	235	219	454
②自己中心的、わがまま、マイペース	42	6	48	13	11	24	30	24	54	12	1	13	97	42	139
③怠ける、飽きっぽい、集中力がない、根性がない	22	25	47	10	7	17	21	18	39	12	4	16	65	54	119
④優柔不断、人に流されやすい	7	10	17	6	2	8	0	0	0	6	3	9	19	15	34
⑤調子に乗る、うるさい	12	12	24	5	2	7	0	0	0	3	8	11	20	22	42
⑥マイナス思考	4	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	5
⑦勉強嫌い、勉強ができない、頭が悪い	8	6	14	1	3	4	0	0	0	0	3	3	9	12	21
⑧ぐず、鈍くさい、動作がのろい、のろのろする、とろい	10	1	11	1	2	3	0	0	0	4	3	7	15	6	21
⑨口が悪い	19	16	35	1	2	3	0	0	0	18	14	32	38	32	70
⑩内気、引っ込み思案、人に文句が言えない	27	1	28	5	5	10	0	0	0	0	0	0	32	6	38
⑪ない、分からない、無回答	23	71	94	3	9	12	0	0	0	21	41	62	47	121	168
<b>3. 今、一番欲しいものは?</b>															
①お金	118	99	217	25	29	54	48	67	115	48	54	102	239	249	488
②服、靴、カバン	44	12	56	8	0	8	0	0	0	17	1	18	69	13	82
③ゲームソフト、CD、MD、ラジカセ、テレビ等	26	47	73	3	5	8	17	46	63	13	24	37	59	122	181
④本、漫画	12	1	13	0	1	1	0	0	0	5	1	6	17	3	20
⑤休み、時間	16	7	23	2	0	2	0	0	0	7	4	11	25	11	36
⑥親友	9	2	11	3	0	3	0	0	0	1	1	2	13	3	16
⑦彼、彼女	19	14	33	5	8	13	0	0	0	4	4	8	28	26	54
⑧ペット	11	5	16	0	0	0	0	0	0	2	3	5	13	8	21
⑨パソコン	12	3	15	3	3	6	0	0	0	8	4	12	23	10	33
⑩携帯電話、PHS	23	6	29	2	1	3	0	0	0	1	2	3	26	9	35
⑪部屋、家	21	8	29	3	2	5	0	0	0	9	7	16	33	17	50
⑫命、健康	0	0	0	1	3	4	0	0	0	0	0	0	1	3	4
⑬趣味の道具	0	0	0	2	4	6	0	0	0	9	11	20	11	15	26
⑭志望校合格	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	3	3
⑮頭脳、運動神経	0	0	0	4	0	4	0	0	0	7	7	14	11	7	18
⑯平和、幸せ	0	0	0	4	0	4	0	0	0	1	2	3	5	2	7
⑰自由いっぱい	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0	3
⑱ない、分からない、無回答	28	30	58	1	15	16	19	26	45	14	21	35	62	92	154
<b>4. 今、一番心配なことは?</b>															
①勉強、テスト、受験	114	100	214	23	31	54	48	67	115	43	28	71	228	226	454

②将来、進路	17	21	38	6	7	13	0	0	0	23	16	39	46	44	90
③友だち関係、意地悪、悪口	50	15	65	9	1	10	19	26	45	13	4	17	91	46	137
④健康(運動不足、体力、背が低い、容貌など)	21	14	35	1	4	5	0	0	0	6	18	24	28	36	64
⑤家族関係	15	6	21	0	0	0	0	0	0	4	12	16	19	18	37
⑥部活(コンクール、試合)	9	3	12	2	1	3	0	0	0			0	11	4	15
⑦環境問題、人類の未来	7	17	24	1	5	6	0	0	0	1	12	13	9	34	43
⑧お金、家の仕事	0	0	0	1	8	9	0	0	0	0	5	5	1	13	14
⑨政治、平和	0	0	0	1	4	5	0	0	0	0	0	0	1	4	5
⑩ない、無回答	86	83	169	10	15	25	17	46	63	38	42	80	151	186	337

<b>5. 最高にハッピーな自分を100点としたら、今の自分は何点?</b>																
①100~80	99	82	181	11	18	29	35	61	96	21	23	44	166	184	350	
②79~60	80	95	175	22	16	38	88	72	160	32	33	65	222	216	438	
③59~40	82	55	137	11	23	34	40	11	51	48	32	80	181	121	302	
④39以下	45	75	120	7	18	25	0	0	0	16	32	48	68	125	193	
⑤マイナス	2	5	7	0	2	2	0	0	0	1	0	1	3	7	10	
⑥無回答	5	9	14	2	0	2	0	0	0	5	5	10	12	14	26	

<b>6. 何があったら、100点に近づけそう?</b>																
①頭が良ければ、勉強ができれば、テストがよければ	28	30	58	9	13	22	0	0	0	8	9	17	45	52	97	
②自分の時間があれば、休みがあれば	17	25	42	8	1	9	0	0	0	14	20	34	39	46	85	
③友だち関係、好きな人がいれば	57	32	89	7	5	12	40	20	60	12	6	18	116	63	179	
④自分が変われば(性格、集中力、我慢強くなれば)	27	42	69	4	13	17	0	0	0	20	17	37	51	72	123	
⑤周りが良くなったら、(楽しい学校になればなど)	1	4	5	1	7	8	44	33	77	7	2	9	53	46	99	
⑥お金があれば、欲しい物が買えれば、宝くじが当たれば	26	51	77	0	10	10	0	0	0	10	28	38	36	89	125	
⑦楽しかったら、おもしろかったら、いい事、うれしい事	37	16	53	10	5	15	0	0	0	21	10	31	68	31	99	
⑧顔やスタイルがよかったら	0	0	0	4	0	4	0	0	0			0	4	0	4	
⑨無回答、分からない	62	65	127	10	16	26	26	38	64	38	42	80	136	161	297	

<b>7. もし火事になったら、何を持って逃げる?</b>																
①お金、通帳、貯金箱、印鑑、	171	198	369	35	46	81	134	137	271	91	78	169	431	459	890	
②アルバム、写真、思い出の品、手紙	49	26	75	6	2	8	0	0	0	16	2	18	71	30	101	
③大切な物(宝物、服、ゲーム、ぬいぐるみ)	111	114	225	16	24	40	74	64	138	47	35	82	248	237	485	
④自分、いのち	3	5	8	2	0	2	0	0	0	5	1	6	10	6	16	
⑤家族	16	11	27	6	3	9	0	0	0	3	5	8	25	19	44	
⑥ペット(犬、金魚)	60	21	81	1	4	5	57	18	75	26	5	31	144	48	192	
⑦生活用品、食品、飲料	33	21	54	6	8	14	0	0	0	16	9	25	55	38	93	
⑧高価な物	0	1	1	1	2	3	0	0	0			0	1	3	4	
⑨無回答	14	20	34	0	3	3	0	0	0	7	24	31	21	47	68	

<b>8. 日頃ストレスがたまったとき、どうしてる?</b>																
①寝る	42	48	90	6	16	22	45	43	88	20	24	44	113	131	244	
②歌う、大声を出す、笑う	83	19	102	7	3	10	0	0	0	16	6	22	106	28	134	
③スポーツをする(部活、走る、散歩)	21	40	61	6	16	22	0	0	0	2	3	5	29	59	88	
④泣く	13	0	13	1	0	1	0	0	0	5	0	5	19	0	19	
⑤ゲームをする、テレビを見る、音楽を聴く、など	31	51	82	6	12	18	42	66	108	21	36	57	100	165	265	
⑥おしゃべりをする、愚痴る、手紙を書く、	22	8	30	12	1	13	0	0	0	10	2	12	44	11	55	
⑦一人になる、ボーっとする、我慢する、何もしない	21	36	57	5	8	13	0	0	0	22	17	39	48	61	109	
⑧物や人や動物にあたる、暴力	90	84	174	18	24	42	39	35	74	40	33	73	187	176	363	
人にあたる	35	20	55	3	1	4	0	0	0	0	0	0	38	21	59	
物や動物にあたる	51	42	93	4	6	10	0	0	0	0	0	0	55	48	103	
物か人が不明	4	22	26	1	1	2	0	0	0	0	0	0	5	23	28	
⑨ストレスを感じない、たまらない	7	10	17	3	5	8	0	0	0	2	5	7	12	20	32	

⑩食べる	13	3	16	2	1	3	0	0	0	4	2	6	19	6	25
⑪好きなことをする	0	0	0	3	2	5	0	0	0	0	0	0	3	2	5
⑫遊ぶ(人、動物)	0	0	0	2	6	8	0	0	0	0	0	0	2	6	8
⑬無回答	21	19	40	0	2	2	0	0	0	4	6	10	25	27	52

<b>9. 無人島に一人だけ連れて行けるとしたら、誰と行く？</b>																
①友だち、気の合う人	151	111	262	23	21	44	148	140	288	60	33	93	382	305	687	
②好きな人	51	56	107	12	13	25	0	0	0	16	9	25	79	78	157	
③家族	2	4	6	3	1	4	51	40	91	6	2	8	62	47	109	
④母	40	10	50	1	0	1	0	0	0	13	2	15	54	12	66	
⑤父	5	8	13	0	3	3	0	0	0	0	1	1	5	12	17	
⑥兄弟	13	9	22	2	0	2	0	0	0	2	2	4	17	11	28	
⑦便利な人	11	14	25	5	9	14	8	9	17	5	8	13	29	40	69	
⑧ペット	9	16	25	1	3	4	0	0	0	4	2	6	14	21	35	
⑨1人で行く	7	15	22	0	3	3	0	0	0	3	15	18	10	33	43	
ドラえもん	0	0	0	2	2	4	0	0	0	0	0	0	2	2	4	
行かない	0	0	0	1	3	4	0	0	0	0	0	0	1	3	4	
わからない	0	0	0	1	5	6	0	0	0	0	0	0	1	5	6	
⑩無回答	29	43	72	3	5	8	0	0	0	15	39	54	47	87	134	

<b>10. 一番幸せだと思うのは、どんなとき？</b>																
①友だちと一緒にいるとき(遊ぶ、話す)	68	5	73	10	6	16	50	41	91	22	2	24	150	54	204	
②好きなことをしているとき(本、漫画、ゲーム)	55	68	123	5	12	17	32	29	61	12	10	22	104	119	223	
③好きな人といるとき、話すとき、見るとき	19	10	29	4	3	7	0	0	0	7	1	8	30	14	44	
④ゆっくりできるとき、寝るとき、休みの日の前、風呂	74	89	163	18	20	38	57	51	108	35	45	80	184	205	389	
⑤部活、スポーツをしているとき	1	17	18	0	5	5	0	0	0	0	3	3	1	25	26	
⑥家族と一緒にいるとき(ビデオ、旅行など)	16	9	25	5	1	6	0	0	0	1	3	4	22	13	35	
⑦食べているとき	24	15	39	10	6	16	0	0	0	6	10	16	40	31	71	
⑧楽しいとき、うれしいとき、笑っているとき	19	4	23	2	3	5	0	0	0	8	14	22	29	21	50	
⑨お金やものをもらったとき、ものを買うとき	13	23	36	5	6	11	0	0	0	6	11	17	24	40	64	
⑩家族ができた時(結婚、出産)	0	0	0	0	3	3	0	0	0			0	0	3	3	
⑪分からない	0	0	0	1	5	6	0	0	0	4	7	11	5	12	17	
⑫無回答	23	40	63	0	3	3	0	0	0	9	21	30	32	64	96	

<b>11. 将来なりたいものは？</b>																
①医者(獣医、歯科医など)	17	11	28	1	1	2	25	34	59	7	6	13	50	52	102	
②保母、先生	47	6	53	9	2	11	32	20	52	14	5	19	102	33	135	
③研究者、科学者	3	7	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	7	10	
④調理関係(栄養士、調理師、板前、パン屋)	4	7	11	0	0	0	0	0	0	4	0	4	8	7	15	
⑤美術関係(イラストレーターなど)、音楽関係、作家	29	12	41	3	3	6	0	0	0	8	0	8	40	15	55	
⑥弁護士、検察官	3	4	7	0	0	0	0	0	0			0	3	4	7	
⑦公務員(警察など)、サラリーマン	19	32	51	5	9	14	0	0	0	3	5	8	27	46	73	
⑧アナウンサー、声優、芸能人、モデル	29	13	42	0	4	4	0	0	0	10	2	12	39	19	58	
⑨スポーツ選手	4	51	55	1	11	12	0	0	0	1	18	19	6	80	86	
⑩通訳、英語を生かせる仕事	5	0	5	1	0	1	0	0	0	0	0	0	6	0	6	
⑪お嫁さん、立派なお母さん、立派なおとうさん	13	1	14	1	3	4	0	0	0	0	0	0	14	4	18	
⑫コンピューター関係(ゲームソフトを作る、プログラマー)	6	12	18	0	1	1	0	0	0	0	0	0	6	13	19	
⑬福祉関係(看護師など)	42	1	43	9	1	10	0	0	0	0	0	0	51	2	53	
⑭美容師、ファッション	34	3	37	6	1	7	0	0	0	4	2	6	44	6	50	
⑮その他	41	78	119	8	21	29	0	0	0	29	36	65	78	135	213	
⑯決めていない、分からない、無回答	68	97	165	12	22	34	54	55	109	50	52	102	184	226	410	



12. 学校って、もう少しどんな風にならいい？															
①設備を改善（クーラーなども含む）	106	132	238	19	41	60	30	36	66	34	31	65	189	240	429
②特にない、今のままでよい	20	24	44	2	5	7	22	45	67	16	16	32	60	90	150
③先生への要望（生徒を平等にもっと見て、理解して）	29	25	54	2	5	7	0	0	0	7	7	14	38	37	75
④登校時間を遅く、授業を短縮、休みを増やす	15	26	41	1	4	5	0	0	0	4	5	9	20	35	55
⑤授業の工夫（わかりやすい、おもしろい、楽しいなど）	2	1	3	0	0	0	0	0	0	8	2	10	10	3	13
⑥みんな仲良く、リラックスできるように、いじめのない	17	11	28	12	3	15	86	55	141	17	10	27	132	79	211
⑦行事を増やす	2	0	2	2	2	4	0	0	0	0	0	0	4	2	6
⑧校則（髪、制服、自転車通学）	97	42	139	12	6	18	0	0	0	22	15	37	131	63	194
⑨全部	25	40	65	1	7	8	0	0	0	12	22	34	38	69	107
⑩無回答、分からない	19	25	44	2	5	7	0	0	0	15	25	40	36	55	91

13. 1つだけ神様があなたの願いを叶えてくれると言ったら？															
①願いの数を増やす、ドラえもんが欲しい、神様になりた	34	42	76	5	8	13	28	42	70	10	20	30	77	112	189
②頭を良くする	7	6	13	6	2	8	0	0	0	15	5	20	28	13	41
③平和、環境、平等、犯罪がなくなるように	11	9	20	3	2	5	0	0	0	8	7	15	22	18	40
④健康（スタイル、不老不死）	43	27	70	11	7	18	20	13	33	17	8	25	91	55	146
⑤空を飛ぶ	3	11	14	0	0	0	0	0	0	4	3	7	7	14	21
⑥金持ちになる	34	55	89	9	19	28	0	0	0	20	38	58	63	112	175
⑦生まれ変わる、過去に戻る	10	13	23	3	2	5	0	0	0	13	15	28	26	30	56
⑧好きな人と幸せになる、両思い、彼・彼女が欲しい	14	8	22	4	2	6	0	0	0	0	0	0	18	10	28
⑨自分の好きなもの	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	4	4
⑩将来の夢を叶えてもらう	0	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	5	5
⑪自由、幸福	0	0	0	1	3	4	0	0	0	24	12	36	25	15	40
⑫全世界、宇宙	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	3	3
⑬その時考える、必要な時までとっておく	0	0	0	3	1	4	0	0	0	0	0	0	3	1	4
⑭別の所に住む、新しい家	0	0	0	2	1	3	0	0	0	0	0	0	2	1	3
⑯無回答	38	38	76	2	7	9	18	21	39	18	20	38	76	86	162

14. 宝くじで100万円当たったら？															
①貯金する	77	65	142	12	25	37	90	95	185	28	37	65	207	222	429
②旅行する	44	21	65	6	2	8	46	14	60	19	8	27	115	45	160
③好きなものを買う（漫画、ゲーム、服、スポーツ用品）	154	119	273	16	20	36	90	80	170	51	40	91	311	259	570
④寄付、募金、他人のために使う	5	7	12	2	2	4	0	0	0	4	5	9	11	14	25
⑤家の新增築、家のローン	11	9	20	18	22	40	0	0	0	6	14	20	35	45	80
⑥好きなことをする	40	47	87	7	5	12	0	0	0	8	13	21	55	65	120
⑦親や家族のために使う	0	0	0	4	6	10	0	0	0	0	0	0	4	6	10
⑧無回答	17	28	45	1	2	3	0	0	0	11	14	25	29	44	73

15. あと1年しか生きられないとしたら、何をする？															
①遊ぶ	75	46	121	19	10	29	54	56	110	32	17	49	180	129	309
②ふつう通りの生活をする	18	22	40	4	5	9	0	0	0	2	6	8	24	33	57
③やりたいこと、好きなことをする	83	70	153	8	24	32	77	62	139	27	31	58	195	187	382
④親孝行をする	4	4	8	0	0	0	0	0	0			0	4	4	8
⑤旅行する	45	24	69	5	5	10	38	18	56	17	6	23	105	53	158
⑥告白をする、好きな人と一緒にいたい	10	8	18	2	3	5	0	0	0	12	2	14	24	13	37
⑦お金を使う	18	18	36	3	5	8	0	0	0	7	7	14	28	30	58
⑧犯罪行為をする	6	24	30	2	6	8	0	0	0	7	24	31	15	54	69
⑨無回答	21	32	53	2	7	9	0	0	0	22	25	47	45	64	109

## <引用文献>

- 大石 英史 (1998) “キレル”子どもの心理的メカニズムに関する一考察. 山口大学教育学部研究論叢, 第48巻第3部.
- 大石 英史 (1999) 現代の“ムカつき”“キレル”中学生の心理. 山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要第10号.
- 清水 将之 (1996) 思春期の心. 日本放送出版協会.
- 杉原 保史 (2002) 「平穏な青年期」を生きる青年の諸相. 京都大学教育学研究科博士論文, 未公刊.
- NHK「14歳・心の風景」プロジェクト (1998) NHKスペシャル セレクション 14歳・心の風景. 日本放送出版協会.
- 山田 和夫 (1992) 青少年の現代的理解—その臨床病理とカウンセリング—. 第三文明社.
- 文部科学省 (2002) 平成13年度 文部科学省白書 第2章 「豊かな人間性の育成」を指して 第1節 子供たちの状況.